

特定非営利活動法人宇都宮市国際交流協会 中期経営計画評価表（平成28年度実績）

平成29年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市馬場通り4丁目1番1号 うつのみや表参道スクエア5階			設立年月	平成9年4月
市所管課	市民まちづくり部 国際交流プラザ			代表者	理事長 臼井 佳子
ホームページアドレス	http://www.ucia.or.jp				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	市民主体の国際交流活動の推進				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流・多文化共生に関する研修・講習会及び啓発事業</li> <li>国際交流・多文化共生に貢献できる人材の育成</li> <li>外国人住民、留学生との交流及び相談・支援事業</li> </ul>				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	うち市OB		正規職員等			嘱託・臨時職員等		
			1	1	0	0	0	0	6	0
		監事	0	0	再雇用職員 (フルタイム)	0	0	再雇用職員 (短時間)	0	0
非常勤	理事	25	2	派遣等職員	0	0	臨時職員等 (アルバイト等含む)	11	0	
	監事	2	1	市OB職員	1	1				
計		28	4	計	1	1	計	17	0	
役員の平均年齢（歳）		61.0	役員の平均年収（千円）		—		情報公開制度の有無		0	
職員の平均年齢（歳）		61.0	職員の平均年収（千円）		—		個人情報保護体制の有無		0	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	備考
資産	15,966	14,291	
負債	696	772	
（うち損失補償等額）	0	0	
純資産	15,270	13,519	
（うち利益剰余金）	△ 196	△ 1,751	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	備考
総収入	50,639	50,765	
（うち市補助金等）	12,045	12,133	
（うち市委託料等）	24,424	23,852	
経常損益	1,893	△ 39	
当期損益	△ 196	△ 1,751	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

## II 各項目の取組状況

### 1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
1	自主事業の改善	安定経営を図るために、これまで拡大してきた事業の見直し検討を行う。	62事業	69事業 見直し7事業 新規14事業	63事業 見直し17事業 新規11事業			

### 2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
2	国際理解のための講師派遣	市民に対する国際理解講座を通して、各地域での多文化共生への理解を深める。	29講座	32講座	32講座			

### 3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
3 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	8,454千円※	12,045千円	12,133千円			
4 (共)	市からの委託料の適正化	継続的な見直し	24,463千円	24,424千円	23,852千円			
5	会員拡大方策に対する取組	31年度会員数510名	486名	537名	570名			

※No.3 基準値（H26）は1名欠員による人件費減の数値

### 4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
6 (共)	常勤役職員数の適正化 （派遣を除く）	職員の適正配置	7人	7人	7人			

### Ⅲ 総合評価

団体による 自己評価	<p>【評価】 自主事業においては、引き続き内容を精査し、ニーズに合った事業の見直しを行った。外国語講座においても収益性及び会員拡大を念頭に前年度水準の維持・向上に努めた。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・効率的な事業運営のための事業見直し</li><li>・安定的な運営に向けた収益事業の継続実施と会員数の拡大</li><li>・協会会員活動の環境整備と会員相互の連携強化</li></ul>
所管課による 評価	<p>【評価】 市民ニーズの把握に随時努めることにより、語学講座を見直し、継続して受講できるようにするなど自主事業の改善を図ったほか、会員数の増加に努め、会員拡大の目標値を上回るなど、現計画に基づく取組を着実に進めている。また、市民への多文化共生の理解を深めるため、引き続き、国際理解講座に外国人住民の講師を派遣し、本市の多文化共生の地域づくり活動の推進に寄与するなど、本市の国際化推進を担う中核団体として公益性の高い事業にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>引き続き、市協会活動の活性化を図るため、会員拡大と併せて、会員が事業に参画し、市協会を拠点に活動するための利用促進に取り組むとともに、安定的な運営に向けた収益事業などの実施による自主財源の確保に努め、経営基盤の強化に取り組む必要がある。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予算執行の効率化や効果的な事業の検討・実施</li><li>・収益性のある事業の拡大や会員増に向けた取組の継続実施</li><li>・会員に対する事業参加や施設の利用促進の強化</li></ul>